伊能忠敬没後200年記念プレ企画

平成29年度　伊能忠敬記念館企画展

日本国中諸国遍歴致し候は、これぞ実に天命と言わんか。

（文化10年4月27日付　伊能忠敬書状）

第1回　江戸テク ――忠敬の測量器具と職人たち――

平成29年 9月26日(火)～11月19日(日)

第2回　偉人のうらがわ ――忠敬の言葉・逸話・遺品――

平成30年 1月23日(火)～3月18日(日)

伊能忠敬記念館

〒287-0003 千葉県香取市佐原イ 1722-1
電話 0478-54-1118　FAX 0478-54-3649
www.city.katori.lg.jp/sightseeing/museum/

第1回　平成29年 9月26日(火)～11月19日(日)

江戸テク

―忠敬の測量器具と職人たち―

左：観星鏡(大)
右：接眼レンズ枠
大阪貝塚の眼鏡職人・岩橋善兵衛によって製作された天体望遠鏡です。

忠敬による全国測量は、それまで誰も成し遂げたことのない初めての試みでした。この空前絶後の一大事業のために、忠敬はさまざまな技法を組み合わせて、誤差を少なくするための測量方法を開発します。同時に忠敬は、既存の道具だけではもの足りず、数々の特注品を用意しました。正確な測量を可能にした器具の数々には、緻密なしかけやそれを具現化するための技巧など江戸時代の職人たちによるものづくりの技術が息づいています。

国宝に指定された忠敬の測量器具類を1年に1度、一堂のもとに公開する好評の企画展。本年度はとくに、忠敬の測量技術と職人たちの機械製作技術、江戸時代を代表するふたつの技術(テク)にクローズアップして紹介していきます。

第2回　平成30年 1月23日(火)～3月18日(日)

偉人のうらがわ

―忠敬の言葉・逸話・遺品―

娘宛て伊能忠敬書状
忠敬は測量の旅先から、実の娘に宛てて数多くの手紙を書いてました。

うら――人の目にふれない部分。内側、心の中。

「うら」という言葉に「心」という字が使われるように、表からは直接見ることのできないものを私たちは「うら」と呼びます。忠敬の作った正確な地図のほか、実際には忠敬に会ったことのない後世の人たちが記した本・教科書などを通じて、私たちは忠敬に対するイメージを作り上げています。しかし、忠敬の心の中、忠敬自身が自らの言葉で何を語り、どのようなことを考えていたのかについては意外なほど知られてはいません。

本展では、忠敬という人間を直接知る手がかりとして、忠敬が記した手紙の言葉やエピソード、忠敬の持ち物などを紹介しながら、忠敬の人柄や内面に迫ります。「偉人」という言葉によって隠されてしまった忠敬の心(うら)を探る企画展です。

自由研究を応援！夏休み子ども向け体験教室

忠敬の地図作りにプチ・チャレ！

この体験教室では、子どもたちが学芸員と一緒に、身近な道具を使って忠敬と同じように測量し、地図作りにプチ・チャレンジしていきます。見事、地図を完成することができた参加者には、認定証を差し上げます。

日　程▶平成29年7月29日(土)、30日(日)、8月5日(土)、6日(日)
時　間▶午前10時30分～正午まで(予定)
対　象▶小学4年生～中学3年生
定　員▶各回10人(先着順)

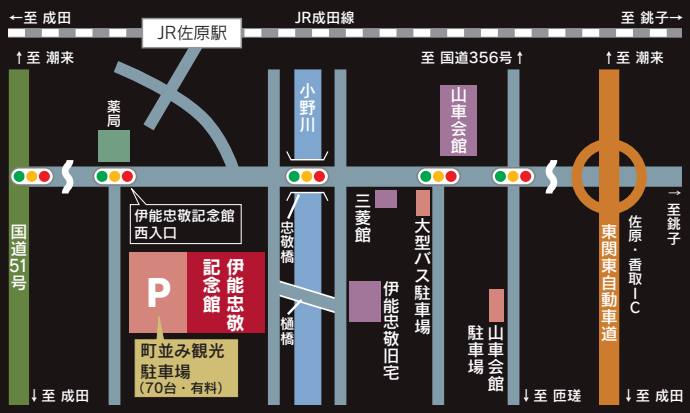
展示ガイドツアー

係員がご来館の皆様と共に館内を回りながら、常設展示の解説を行います。
日時：土曜・日曜・祝日
(休館日を除く)
午後2時15分～
(25分程度)

企画展会期以外も実施します。

開館時間　午前9時～午後4時30分(午後4時頃までに入館してください)
休 館 日　毎週月曜日(国民の祝日、6月5日・12日・19日・26日、8月14日は除く)、12月29日～1月1日
入 館 料　大人500円(450円)／小・中学生250円(200円)
※(　)内は15人以上の団体料金
※65歳以上の人は450円(証明できるものをご提示ください)

交通案内
【自動車】東関東自動車道「佐原・香取インターチェンジ」から15分
国道51号線 通称山之辺交差点から5分
【電　車】JR佐原駅下車、徒歩10分



※バスは、大型バス駐車場または山車会館駐車場に駐車してください。
町並み観光駐車場は普通車のみ駐車できます。

伊能忠敬記念館

www.city.katori.lg.jp/sightseeing/museum/

〒287-0003
千葉県香取市佐原イ 1722-1
電話 0478-54-1118
FAX 0478-54-3649